

# 協働の まちづくり

## ニュース

Vol. 30  
2016.12 月号



日向市自治公民館対抗 グラウンドゴルフ大会（主催 日向市区長公民館長連合会）  
※大会の結果はP 7をご覧ください。



P 2～3 ○突撃インタビュー「大王谷農業小学校」

○まちづくり支援事業下半期結果

P 4～5 新しい地域コミュニティ組織制度事業

○4地区の動き

P 6 国際交流まちづくり推進協議会

P 7 おひさま通信

○庄手向区の紹介 ○グラウンドゴルフ大会

P 8 ○日向ドラゴンアカデミー ○市民活動フェスタ



## 日向市市民まちづくり支援事業

元気で活力のある協働のまちづくりを推進するために、市民自ら企画提案する  
公益性の高い事業の経費の一部に対し補助金を交付しています。下記参照↓



うめもんフェスタ



財光寺農業小学校



伊勢ヶ浜門前まち

### ■平成28年度下半期の採択事業を紹介します 事業数：4件（内、新規事業：1件）

| 団体名            | 事業名                       | 総事業費      | 申請額       | 査定額       | 内容                                                               |
|----------------|---------------------------|-----------|-----------|-----------|------------------------------------------------------------------|
| 日向市手をつなぐ育成会    | 廃校を拠点とするコミュニティハウス         | 5,019,000 | 4,434,000 | 4,287,000 | 地域住民の憩いの場や、地域活動を行う方々が使用できる施設をつくり、コミュニティスペースとして活用してもらう。           |
| まちなかハロウィン実行委員会 | まちなかハロウィン2016             | 1,480,000 | 450,000   | 361,000   | 中心市街地をステージに、子どもたちが主役となって「ハロウィン」をテーマに、街なかでの様々な体験を通じて街を愛する「心」を育てる。 |
| 日向商工会議所女性会     | 100万人のキャンドルナイトひゅうがの灯り2016 | 390,000   | 180,000   | 131,000   | エコ活動の一環として環境問題やエネルギー節約への関心を高めてもらい、地域振興と中心市街地の活性化を図る。             |
| 山田会            | 映画「家族はつらいよⅡ」日向市特別上映会      | 2,194,000 | 654,000   | 465,000   | 山田洋次監督の最新作「家族はつらいよⅡ」を全国公開に先駆けて鑑賞する機会を設け、併せて山田監督の舞台あいさつも計画する。     |

## 平成29年度上半期 企画提案募集を行います！

『日向市市民まちづくり支援事業』の平成29年度上半期事業を2月1日から2月15日まで募集します。

① **地域づくり事業**  
特定地域での環境美化、防犯、コミュニティの活性につながる事業。（補助率3／4以内、限度額50万円）

② **イベント系事業**  
市内全域対象の祭り、スポーツ大会、講演会などのイベント、シンポジウム、文化芸術の発表会。（補助率1／2以内、限度額300万円）

③ **伝統的事業**  
市内において、概ね30年以上継続して開催され、将来に継承すべき伝統的イベント。（補助率1／2以内、限度額300万円）

④ **地域づくり整備事業**  
①の地域づくり事業と合わせて実施することが条件。事業をより発展的・効果的に行うために必要な施設等の新築、改修事業。（補助率10／10以内、限度額400万円）

問い合わせ先  
日向市地域コミュニティ課  
0982-52-2111

突撃!!

## 大王谷農業小学校

自らの手で土に触れ、耕し、汗を流し、季節の野菜や米を栽培することで、自然との関わりや農業の果たす役割について、子どもたちに考えてもらいたい。また、食と農と命の関係について子どもたちに学んでももらいたいと、昨年梶木区に開校した大王谷農業小学校。今回はその大王谷農業小学校の校長先生「本山 隆太郎さん」に突撃インタビューをしました。



### ◆大王谷農業小学校で作っている野菜を教えてください



「今はサツマイモ、キャベツ、ブロッコリー、白菜、大根、カブ、ニンジン、ホウレンソウを植えています。それと今年は稲作も上手いき、昨年より4俵も多く収穫できました」と嬉しそうに答えてくださる本山校長先生は、大根が大好きだそうです。「これから、おでんやみそ汁などに大根をいれるのがとても楽しみ」と話していました。

### ◆大王谷農業小学校を始めて大変だったことを教えてください

「農業は自然が相手なので、日照りが続くと水やりが大変だし、雨がずっと水が溜まるので作業ができなくなります。またモンシロチョウは小さくてかわいいイメージがありますが、幼虫のアオムシはキャベツやブロッコリーの葉を食べてしまうので、農業者を困らせる害虫です。しかし、農薬や消毒は極力使いません。無農薬の野菜を作ることを目指しており、お店で売られている野菜と違うところも子どもたちに学んでもらいたいと思っています」



△台風16号で冠水した田畑

### ◆大王谷農業小学校を始めて良かったことを教えてください

「最近の子どもたちは家でテレビを見たり、ゲームをすることが多いので、農業に興味を持ってくれるか心配でしたが、意外に農業に興味を持つ子どもが多いことに驚きました。兄弟での参加もありますし、半数近くは去年参加した子どもが、リピーターとして参加してくれているので、満足度は高かったのかなと思います。他にもピーマンやゴーヤを食べ



べなかった子どもから自分で作った野菜を『食べた』『美味しかった』と報告があると農業小学校をやって良かったと思います。学校を退職した今でも、子どもたちと触れ合うことができるのがなにより嬉しいです」

### ◆誰かに話したくなる豆知識

「雷は私たちが生きていくために欠かせない自然現象です。なぜかと言うと雷は窒素を窒素酸化物に変換します。この窒素酸化物は雨によって空気中から土壌に運ばれ、そして植物はこの成分を自身の成長のために利用します。そのため雷が多い年は豊作になる、雷が落ちた畑は作物がよく育つという言葉は単なるジンクスではなく、科学的な根拠があるのです。こういう話を子どもたちにしながら楽しく野菜を作っています。」

### ◆平成29年度も大王谷農業小学校やります!!

「対象は小学4・5・6年生。登校日は毎月第2土曜日、第4土曜日（登校回数は15回程度）です。入会費として3,000円の会費をいただきます。来年の2月に学校を通して募集チラシを配布しますので、確認をよろしくお願いします。季節の野菜作りに参加して収穫の喜びを感じてみませんか」

経済についても学んでもらおうと、子どもたちと一緒に野菜の販売をしています。販売日は毎週日曜の13時～15時。場所は財光寺コメリ駐車場です。子どもたちが作った無農薬の野菜を是非ご賞味ください♪





## ◆細島地区の取り組み

### 【ひよとこ祭りツアーおもてなし】

8月6日(土)に日向ひよとこ夏祭りにあわせて実施されるモニターツアーの夕食のおもてなしが行われました。今年で4回目のこの事業は、ツアー参加者に対して、細島産のイワガキやサザエなどの浜焼きのほか、ごんぐりや新鮮な刺身など、細島ならではの海鮮料理を振る舞うというもので、毎年恒例になりつつあります。今年は、熊本の震災の影響で、ツアーへの参加者は例年より若干少なかったですが、参加者からは「こんなに新鮮な海鮮料理を食べることができて、機会がめったにないから、とても満足した。」などと非常に好評でした。



### 【九州公民館研究大会事例発表】

8月25日(木)に、第67回九州地区公民館研究大会が宮崎観光ホテルで開催され、その分科会の中で、青少年育成部会の藤倉博さんと藤倉邦子さんが「HOSOSHIMAまちづくり協議会で取り組んでいる青少年育成活動」と題して事例発表を行いました。



行いました。その後の討議の場では、各自治体から、課題や取り組みの紹介など、多くの意見が挙がり、参加者の一人は、「とても参考になった。今後の活動に活かしていきたい。」と話していました。

### 【明るい社会賞受賞】

夕刊デイリー新聞社の「平成28年度第43回夕刊デイリー明るい社会賞」の表彰式が10月7日(金)に開催され、HOSOSHIMAまちづくり協議会が表彰されました。同賞は、夕刊デイリー新聞社創設10周年の記念事業として創設され、地道な社会奉仕、文化継承、スポーツ振興などを通して明るい社会づくりを実践している個人や団体をたたえ、表彰するもので、今年度は22個人、5団体が表彰されました。三輪会長は、「これまでの活動がこのように評価されとても嬉しく思う。これを励みに今後も細島地区の賑わいに力を注ぎ、より住みやすいまちにしていきたい。」と想いを語っていました。



## ◆平岩地区の取り組み

### 【秋の物産品を地産地消】

9月11日(日)、太平洋ドライブイン駐車場で「第31回平岩ふれあい朝市」が開催されました。栗や柿、椎茸などの地元ならではの特産品から、無花果(イチジク)や安納芋などお店であまり見ない物が並んでおり、食欲の秋を感じました。



次回は12月25日(日)南日向コミュニティセンター前で予定となっております。

### 【楽しくウォーキングで健康に】

男性肥満者の割合で宮崎県は全国ワースト2位と非常に残念な結果が出ています。原因は車での移動が多く、運動量が少ないことが考えられます。そこで運動する習慣をつけようと10月23日(日)、歩こう会の企画がありました。あいにくの雨により中止となってしまいました。ウォーキングは日常生活と比べて少し歩幅を広くすることで運動効果が大きくなります。日頃から運動し、健康を意識してみましよう。

## ◆年末年始も大忙し

○12月4日(日)まつり平岩  
南日向コミュニティセンター前  
婦人舞踊隊や子どもみこし連のパレード。獅子舞や岩脇保育園太鼓演奏が行われます。

○12月25日(日)平岩ふれあい朝市  
南日向コミュニティセンター前  
しめ縄やもち米など年末用品から季節の農産物の販売が行われます。また、同会場では平岩農業体験事業のもちつきが行われ、つきたてのもちの振舞いも行われます。

○1月7日(土)新春たこあげ大会  
お倉ヶ浜海水浴場  
手作り凧の部、大凧・連凧の部、既製品凧の部の3部門が行われます。

○1月22日(日)  
グラウンドゴルフ大会  
平岩農村公園  
雨や台風で2回延期になっていたグラウンドゴルフ大会が行われます。



▶ 昨年のまつり平岩とたこあげ大会

## ◆塩見地区の取り組み

### 【竹でおはしとうつわ作り】

8月21日(日)に塩見小学校家庭教育学級の協力による竹細工教室が開催されました。親子で33名の参加があり、子ども達は竹に気を付けながらカッターなどで竹を削り、おはしを作成していました。竹の節を利用したうつわも切り口を滑らかにして、さつそくその後の流しそうめんで活用。

また、竹げた作りや、急きょ風作も行われ竹づくしの一日に。子ども達はものづくりの楽しさと、青竹の上を流れるそうめんをすくって食べる楽しさを味わっていました。



### 【給食センター・城山草刈り】

協議会では、給食センターと城山公園の草刈り・花壇整備の委託を受けており、夏の暑さで伸びきった雑草を刈り取る作業が、それぞれ9月18日と10月9日に行われました。



城山公園の草刈りは、初日の出が見やすくなるように、年末も予定されています。

### 【今年も豊作でした】

11月3日(木)に毎年恒例のカライモ収穫祭が開催されました。今年は雨が多かったことからつるの成長も良く、参加者は長さのあるイモを掘るのに苦戦しつつも、持ち帰り制限のレジ袋2つがパンパンになるほど掘り出し、重くなった袋を笑顔で持ち帰っていました。

また、今年も掘ったイモの大きさを競うデカイモランキングがあり、接戦の末、1.55キロのイモを掘り当てた子が優勝でした。

来年はさらに多くの方に参加してもらえよう、植え付け面積を増やすことを検討しているようです。



## ◆東郷地区の取り組み

### 【視察研修】

10月11日(火)、12日(水)の日程で視察研修が行われました。参加者は9名で、視察先は熊本県の荒尾市と玉名市でした。荒尾市では、協働のまちづくり推進の概要についての説明や、同市井出川地区協議会が行っている「認知症徘徊模擬訓練」などの活動について話を聞くことができました。



玉名市では、「薬草を食べて元気な町に」をスローガンに先進的な活動をしている小岱山薬草の会の取り組みについて説明を受けました。身近に自生しているオオバコやタンポポ等の薬草を使ったカレーやだご汁を食べることもでき、参加者は大変感激していました。

今回の視察研修で学んだことを他の会員とも共有し、今後の活動に繋げていくようです。



### 【出前講座】

10月19日(水)に迫野内公民館で、「出前講座」が行われました。これは初めての取組みで、協議会役員等が地域に出向いて、高齢者の方と交流をすることで、高齢者の皆さんに笑顔で元気になってもらいたいという想いから計画されたものです。

当日は約35名の参加があり、DVDの映写や社会福祉協議会による健康体操、山陰駐在所からは振り込め詐欺の説明がありました。

昼食には、地元ボランティアや協議会スタッフが調理をしたカレーライスが振る舞われ、みんなで美味しくいただきました。



また、牧水園のご協力により、希望者はマイクロボスで送迎をしてもらいました。

この活動は、地域の様々な団体や組織と協力して実現することができました。これが本来の「まちづくり」の姿ではないでしょうか。今後も地域との連携や工夫を重ねながら活動が続いていくようです。







# 日向ドラゴンアカデミー 未来プレゼンテーションのご案内

日向市ひまわり基金事業推進協議会が主催する「日向ドラゴンアカデミー」の受講生によるプレゼン大会を開催いたします。ソーシャルビジネスのモデルとして学んできた「へべす」の販路開拓の発表やゲスト講師による講評を行う予定です。ぜひお越しください。

日時：平成28年12月10日(土)14:00～

場所：日向市文化交流センター小ホール



←7月9日に開催された  
開講記念イベントの様子



日向ドラゴンアカデミー！豪華ゲスト講師と受講生らによる

**未来プレゼンテーション**  
伝説のはじまりを目撃せよ！

**12月10日** 土曜日 14:00 START  
[SAT] 17:00 CLOSE

観覧無料・申込み不要

日向市の人財づくり事業「日向ドラゴンアカデミー」  
本年度は、地域資源である「へべす」を題材に、  
ソーシャルビジネスを学び、全国紙で掲載されました  
当日は、受講生らが「へべす」の販路開拓を発表。  
ゲスト講師が、講評を行う予定です。  
日向市の新しい伝説のはじまりをご覧ください。



このイベントは日向市ひまわり基金事業推進協議会 人財づくり事業の一環で行われます。  
主催：日向市ひまわり基金事業推進協議会。問い合わせ：日向市地域コミュニティ課 TEL0982-52-2111（内線 6254）

～日向ドラゴンアカデミーとは～

日向市総合戦略の一環として平成28年度より実施されている新たな人財づくり事業。人と地域資源を活かしたビジネスの創出や、地域課題解決のための手法及び資金調達の方法等を学び、市内での起業や、地域づくりの中心的存在として活動するような「昇龍のように地域から昇りゆく人財」を育てることを目的に実施しています。

## 「地域と市民活動フェスタ」のご案内

日時：平成29年2月12日(日)10時

場所：日向市文化交流センター

様々な企画をご用意して、市民の皆様のご来場を心よりお待ちしております！！

●問い合わせ先

日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会内  
地域と市民活動フェスタ実行委員会  
TEL：0982-50-0300



日向市 協働のまちづくり

検索

発行／平成28年12月1日

日向市 総合政策部 地域コミュニティ課 〒883-8555 日向市本町10番5号  
TEL 52-2111(内線6254) FAX 56-0018

協働のまちづくりニュース 12月号